

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和4年度 第2回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和4年10月5日(水) 午後2時00分 開会・午後4時00分 閉会
開 催 場 所	入間市市民活動センター 3階 活動室1
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	上田圭吾 岡崎洋志 小野吉雄 栗山三千代 河野真夢 小林昌幸 近藤信弘 齋藤勝久 坂本蓉 竹内國雄 永井健一 村野裕子 森 洋子
欠席委員(者)氏名	有賀健高 三木敏正
説明者の職氏名	エコ・クリーン政策課(事務局)副参事 中村慧、主幹 松落義夫 総合クリーンセンター 主幹 水村昌秋
会 議 次 第 (公 開)	【委嘱式】 1 開会 2 委嘱状交付 3 副市長挨拶 4 委員自己紹介 5 事務局自己紹介 【廃棄物減量等推進審議会】 1 正副会長選出 2 正副会長あいさつ 3 諮問 4 共通認識事項 (1) 入間市廃棄物減量等推進審議会について (2) 脱炭素の動向と入間市ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について (3) プラスチックごみ一括回収の実施及び現在の家庭ごみ収集回数について (4) 家庭ごみの組成分析調査の結果について 5 諮問事項に対する審議 (1) プラスチックごみ一括回収の実施について (2) 家庭ごみ収集回数の見直しについて 6 その他 7 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料 ・令和4年度第2回入間市廃棄物減量等推進審議会次第 ・入間市廃棄物減量等推進審議会について【資料1】

	・脱炭素の動向と入間市ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について【資料2】 ・プラスチックごみ一括回収の実施及び現在の家庭ごみ収集回数について【資料3】 ・令和4年度ごみの分け方出し方【資料4】 ・家庭ごみの組成分析調査の結果について【資料5】 ・プラスチックごみ一括回収の実施について【資料6】 ・いるま市報10月号
事務局職員職氏名	環境経済部長 環境経済部次長 環境経済部エコ・クリーン政策課長 環境経済部副参事（脱炭素・資源循環担当） エコ・クリーン政策課 主幹 主事 関根千紘 総合クリーンセンター 所長 原嶋裕子 横田一洋 竹廣由美 中村 慧 松落義夫、主査 村上俊、 小林正和、主幹 水村昌秋
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 （ 2 ）

議 事 の 概 要 （ 経 過 ） ・ 決 定 事 項

○委嘱状交付

令和4年10月1日から令和6年9月30日までが、新たな委員の任期となるため、新しい委員での最初の審議会のため、委嘱状の交付を行う。

○正副会長の選出

会長に小林昌幸委員、副会長に永井健一委員が選出され、承認された。

○議題

共通認識事項

- （1） 入間市廃棄物減量等推進審議会について
- （2） 脱炭素の動向と入間市ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について
- （3） プラスチックごみ一括回収の実施及び現在の家庭ごみ収集回数について
- （4） 家庭ごみの組成分析調査の結果について

それぞれ、資料1から資料5を用いて事務局より説明を行った。

諮問事項に関する審議

- （1） プラスチックごみ一括回収の実施について
- （2） 家庭ごみ収集回数の見直しについて

資料6を用いて事務局より説明を行なった。

○その他

- ・ 今後のスケジュールについて、10月28日（金）第3回、11月11日（金）第4回を開催予定。

以上

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
司会 (副市長) 副市長 各委員 各職員	【委嘱式】 1 開 会 (配布資料の確認を含む。) 2 委嘱状の交付 (副市長より名簿順に交付) 3 副市長あいさつ 4 委員自己紹介 5 職員自己紹介
副市長	【廃棄物減量等推進審議会】 1 正副会長選出 会長 小林昌幸委員 副会長 永井健一委員に決定。(立候補による)
小林会長 永井副会長 副市長、会長	2 正副会長あいさつ 会長あいさつ 副会長あいさつ
事務局	3 諮問 副市長が諮問書を読み上げ、会長へ渡す。委員へは、コピーを配布。
上田委員 事務局	4 共通認識事項 (1) 入間市廃棄物減量等推進審議会について 公開とは、傍聴人の公開とHPへの公開ということですか。 ここでいう公開とは傍聴人が会場で傍聴するという意味で、議事録については、HPに掲載するということです。
上田委員 事務局	議事録については、発言した委員の名前が掲載されますか。 掲載します。
小林会長	(2) 脱炭素の動向と入間市ゼロカーボンシティ実現に向けた取組について (3) プラスチックごみ一括回収の実施及び現在の家庭ごみ収集回数について (4) 家庭ごみの組成分析調査の結果について それぞれ、資料1から資料5を用いて事務局より説明を行った。 つづきまして、審議事項に移ります。
事務局	(1) プラスチックごみの一括回収の実施について (2) 家庭ごみの収集回数の見直しについて (資料6を用いて説明)

発 言 者	発 言 内 容
小林会長 司会	質疑を受けます。 今回の質疑応答は、次回の審議会で意見をお伺いしますので、今回事務局で説明した内容についての質疑応答をお願いします。
上田委員	一括回収について、住民にわかりやすくするということで、賛成ではありますが、不燃ごみにはプラスチック類が50.5%含まれています。うち製品プラスチックが13.7%であったので、影響は少ないとありますが、50.5%がプラスチックの回収に回ってきたとしても影響は少ないと考えていますか。
事務局	50.5%はあくまでもプラスチック類ということで、そのうちプラスチック・ビニールとして回せるのが13.7%ということになります。
上田委員	家庭ごみの収集回数の見直しで、コスト削減の金額がどれくらいになりますか、また、削減になるのか、その部分をどこかに注力して回していくのか市としてどのようにしていきますか。
事務局 齋藤委員	次回の審議会で金額などをお示しするので審議いただきたいです。 不燃ごみの組成調査の結果について、地区によりこんなにも生活環境が変わるのかというのが、公に出ていますが、地区により違いがあるという表現をしてよろしいのでしょうか。また、製品プラスチックという言い方は馴染みがありません。硬質プラスチックといわれているようですが、今後、製品プラスチックということで行くのですか。
事務局	地域により大きな違いはありますが、市全体でみていただきたいです。表現については、製品プラスチックという表現にしたいと考えております。
近藤委員	プラスチックかどうかともわからない方もいる中で、どのように説明をしていくのですか。
事務局	区長会議等で丁寧に説明をしていきます。また、集積所へもお知らせしていきます。
栗山委員	宅配などでは、エアパッキンはどの分別にあたるのかなどわかりにくい部分もあります。
事務局	ごみの分け方出し方では紙面が限られているので、詳しく出せないが、ごみアプリで似たようなものを掲載しています。そこでは、ビニール・プラスチックとして分別されているので、ビニール・プラスチックとして出していきたいです。
小林会長	他に質問がなければ、次回の審議会でも同じ内容で審議いただくので、そ

発 言 者	発 言 内 容
司会 事務局 司会 永井副会長	の時にございましたらお願いします。 つづきまして、「その他」として、今後のスケジュールについて事務局より説明をお願いします。 事務連絡として、次の開催は10月28日（金）午前開催。後日詳細を連絡します。 閉会の挨拶を永井副会長お願いします。 （閉会の挨拶）
議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。 令和 4 年 10 月 19 日 議 長 の 署 名 議長が指名した者の署名 小林 昌幸 永井 健一	